

# 大通及びその周辺のまちづくり方針

## —札幌都心はぐくみの軸強化方針—



令和5年（2023年）10月  
札幌市



## 象徴性を継承し、新たな価値を創造していくために

札幌の都心は、約150年前に火防などを目的に道路として整備された大通を基軸にまちづくりが進められ、発展を続けてきました。

大通及びその周辺には、広大なみどりの空間である大通公園のほか、札幌市時計台といった歴史的資源など、札幌を象徴するまちの資源が多く集積しています。

現在、札幌の都心は、昭和47年（1972年）の札幌オリンピックから50年以上が経過し、その際に建設された建物が一斉に更新時期を迎えていることから、50年に一度のリニューアル期を迎えているとも言われています。

札幌のまちが、次の100年も魅力と活力を創造し続けるまちであるためには、大通及びその周辺が持つ価値を再認識し、市民の誇りである大通公園などの象徴性を継承しながら、新たな価値を創造していくことが重要です。

また、令和12年度（2030年度）に予定されている北海道新幹線の札幌駅までの延伸・開業の効果を都心全体へ波及させていくためにも、大通及びその周辺のまちづくりを強化していく必要があります。

この方針は、大通及びその周辺の将来像や、まちづくりの取組の方向を明確にし、市民・企業・行政などがそれを共有し、協働してまちづくりを展開していくために策定するものです。

今後、この方針に沿った取組を推進し、次の100年に向け、時代の流れに柔軟に対応しながら新たな価値を創造し続け、札幌市民が世界に誇れる、魅力と活力にあふれる都心の実現を目指していきます。

最後に、本方針の策定にあたり、ご尽力いただきましたはぐくみの軸強化方針検討会の皆様と、貴重なご意見をいただきました市民の皆様にご心からお礼申し上げます。

令和5年（2023年）10月



札幌市長 秋元克広

# 目次

第1章 目的と位置づけ	1
1-1. 方針策定の背景・理念・目的	2
1-2. 対象エリア	3
1-3. 位置づけ	4
1-4. 対象期間	4
第2章 はぐくみの軸を取り巻く現状・課題	5
2-1. 歴史的背景	6
2-2. エリア全体での現状・課題	8
2-3. 社会経済情勢の変化など	19
2-4. 札幌市の関連計画	24
第3章 はぐくみの軸全体の強化方針	31
3-1. 重視すべき視点と目指すべき将来像	32
3-2. 将来像実現のための取組の方向	34
第4章 ゾーン別の強化方針	41
4-1. ゾーン区分の設定	42
4-2. ゾーン別の現状と課題、強化の考え方	44
4-3. 将来像と取組の方向	60
第5章 重点的に進める取組	67
第6章 取組の推進にあたって	73
6-1. 市民・企業・行政などの協働	74
6-2. 段階的・総合的な取組の展開	74
参考資料	75
資料1. 策定の経緯	76
資料2. オープンハウス開催概要	78
資料3. パブリックコメント	82

## (本書の使い方)

本方針は、市民・企業・行政などが、新たな開発、既存施設の改修、都市空間の活用など、はぐくみの軸のまちづくり<sup>1</sup>を進めていくにあたって共有する考え方を示したものです。市民・企業・行政などが、後述の「目指すべき将来像」を共有し、「取組の方向」を踏まえて協働してまちづくりを進めていくことで、将来像の実現を目指していきます。

本方針の使用目的に応じて、以下のページをご覧ください。

- ・ はぐくみの軸の将来像を知りたい .....31ページ～39ページ
- ・ 新たな開発などの参考にしたい .....41ページ～66ページ
- ・ 将来像実現のための具体的な取組例を知りたい .....60ページ～66ページ
- ・ 重点的に進める取組を知りたい .....67ページ～71ページ

<sup>1</sup>【まちづくり】快適な生活環境の確保、地域社会における安全や安心の推進など、暮らしやすいまちを実現するための公共的な活動の総体。札幌市自治基本条例第2条第2項に規定するまちづくりと同義。